

日本酒王国にいがた（新潟県）

○日本の米どころ新潟の特色を生かし、その地元に根ざす酒蔵及び日本酒のPRのため、「酒蔵ツーリズム」を推進。
○東アジアや東南アジア、欧州に対し旅行会社やメディアの招請を通じた酒蔵の紹介、海外での試飲会、セミナー等開催により積極的にPR。

○事業主体 新潟県、県酒造組合、県旅館ホテル生活衛生同業組合、県観光協会等

○取組概要

新潟県は、100近い酒蔵が存在。その特色を生かし、新潟の地域に根ざした酒蔵及び日本酒をPRするため、「酒蔵ツーリズム」を推進。

県内の主要観光拠点における試飲コーナーの整備や、日本酒を利用した各種関連商品（スイーツ、化粧品等）の開発、日本酒イベント「にいがた酒の陣」をはじめとする各種イベントの開催の他、海外へのPRを積極的に実施。

海外プロモーションとしての主な事例として、ビジット・ジャパン事業による台湾、韓国、香港等の海外旅行会社・メディアの招請（訪問先：魚沼市玉川酒造、小千谷市高の井酒造等）や、欧州、韓国等での試飲会、日本酒セミナーの開催、シンガポールでの「酒の陣」イベント開催等が挙げられる。

県内の酒蔵の約半数が見学可能。外国語対応可能なスタッフの配置、外国語パンフレットの設置等、インバウンドに積極的な酒蔵も多数ある。

○取組の成果

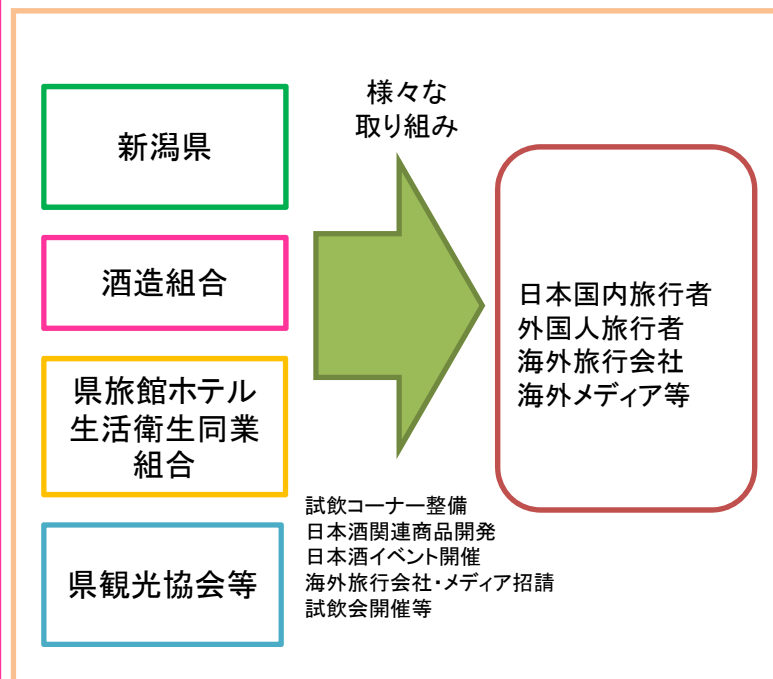
海外メディア（韓国SBBテレビ、香港雑誌「Go Japan」、台湾旅行業界雑誌「旅奇」等）における酒蔵紹介や、酒蔵見学を取り入れた海外旅行商品の造成等により、県内への訪日外国人数の増加、海外における新潟の認知度向上につながった。



新潟が誇る日本酒の数々



日本酒イベント
「にいがた酒の陣」



農村生活体験「ほっとステイ」（長野県上田市）

○長野県上田市武石地区の農業生産法人(株)信州せいしゅん村が、「ほっとステイ」事業として農村生活体験メニューを提供。台湾を中心に外国からの教育旅行を積極的に受け入れている。

○事業主体 農業生産法人 (株)信州せいしゅん村

○取組概要

「外から来てもらえるサービス提供型の農村を目指す」とのコンセプトのもと、「ありのままの農村生活を体験」を提供するメニューとして、「ほっとステイ」事業を2002年より展開。

国内中学、高校生の修学旅行先として高い人気を誇っているほか、海外からの教育旅行も積極的に受け入れ。英語、中国語（繁体字・簡体字）のパンフレットを作成し、海外現地商談会での誘致活動も活発に行っている（ビジット・ジャパン台湾教育旅行現地説明会に信州・長野県観光協会とともに参加）。

○取組の成果

台湾を中心に海外から多数の小、中、高校が同メニュー参加のために上田市を訪問。

長野県が、「国際青少年交流農村宣言」（2011年10月8日）において、「農村・観光事業者・行政が一体となって、国内外からの教育旅行の受入や海外の学校との交流を推進します」と宣言した。当事業はモデルケースの一つとして、長野県への訪日教育旅行が大きく飛躍する原動力となるなど、高い成果を遂げている。

外国からの教育旅行受入人数（H25）・・・1,980人
（台湾1,450人、中国140人、その他シンガポール、カナダ、フランス等）



柿の収穫体験



ホストファミリーとの団らん



多言語対応のパンフレット

